

都市再生整備計画(第4回変更)

ちくごしほくぶちく
筑後市北部地区

ふくおか 福岡県 ちくごし 筑後市

平成 30 年 6 月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	筑後市	地区名	筑後市北部地区	面積	252 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

大目標 いきいきとした暮らしと安全で快適な住環境を備えた魅力ある居住地の形成

目標1 安全安心な住環境の提供による地区内の定住の促進

目標2 地区内の防災施設や防災体制の充実による防災意識の向上及び地域コミュニティの強化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【まちづくりの経緯】

- 平成16年4月 国立療養所筑後病院から独立行政法人国立病院機構へ移行
- 平成19年3月 第4次筑後市総合計画の策定
- 平成20年7月 都市計画マスタープラン策定
- 平成22年12月 旧国立病院の国庫納付の基本方針が閣議決定
- 平成24年6月 筑後北校区コミュニティ協議会発足
- 平成24年8月 旧国立病院跡地が国庫納付を経て財務省へ財産の引継ぎ
- 平成24年12月 未利用国有地利用計画(筑後市防災拠点整備)の作成

【現況】

- 北部地域北側は、丘陵地となっており、斜面に緑地や茶畑が広がる自然に恵まれた住宅地が形成されている。
- 旧国立病院跡地について、財務省の一般会計普通財産を筑後市に売却する予定となっており、その跡地活用を検討している。
- 地域活動が盛んな地域であり、まちづくりに対する意識も高く、事業と運動した公民協働による検討が期待できる。

【住民意向】

- 公共施設が少ないという意見が多い。(筑後北拠点施設計画)
- 健康、高齢者福祉、子育て支援をする事業が望まれている。(筑後北拠点施設計画)

課題

- 様々な地域活動が盛んな地域であるが、活動の拠点となる場所が不足している。
- 地域住民が交流できる施設の不足により、地域コミュニティの維持・形成が進まない。
- 高齢者や障害者をはじめ、誰もが利用しやすい市街地環境を形成する必要がある。
- 北部地域は、水害の危険性の低い地域であるため、市内で居住推進を最も図るべき地域である。
- 道路、公園を中心とした都市基盤の整備によって、住環境の改善を図る必要がある。
- 歩道整備が遅れているため、通学路を中心とした歩行者空間の確保が必要である。
- 国立病院跡地である国有地の活用を行う必要がある。
- 元筑後養護学校赤坂分校跡地である県有地の有効活用。

将来ビジョン(中長期)

「第4次筑後市総合計画」(平成19年3月)

- 北部地域の定住促進

「筑後市都市計画マスタープラン」(平成20年7月)

(将来像)「緑・古墳・伝統が織りなす めぐもりのまち」(北部地域整備方針)

- 地域拠点内の公共施設の整備や商業施設の誘致を推進し、都市機能の充実を図る。
- 幅員の狭い道路の改良や通学路などの歩行者空間の安全性の確保を図る。

「矢部川流域景観計画」(平成21年3月)

- 「丘の景域」丘陵部に広がる自然と調和した田園景観、集落景観、市街地景観を将来にわたり保全する。
- 「田園の景域」筑肥山地等の山並みへの眺望や広がるのある田園景観、落ち着きのあるまちなみ景観を保全・創造し、伝統産業や地域文化と関り深い景観を継承する。

目標を定量化する指標

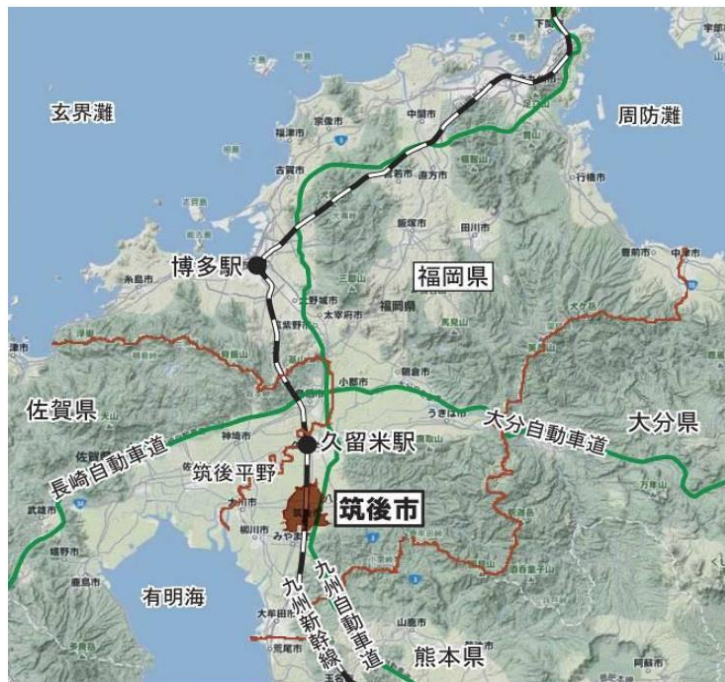
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区内居住人口	人	住民基本台帳(年度末)による地区内居住人口を把握し、地区の定住促進の達成状況を把握する。	地区の目標である定住促進を達成する指標として、地区内の居住人口の達成状況を把握する。	5,703	H25	5,882	H30
定住に対する満足度	%	毎年度末に実施しているまちづくりアンケートの「あなたはこれからも筑後市に住み続けたいと思いますか」の設問で、「1. いつまでも住み続けたい」の回答率を指標とする。	当事業によって、地区内のコミュニティ形成の強化及び防災性・安全性の向上を図ることから、地域住民の定住意識の向上を指標として設定する。	32.2	H25	37.1	H30
防災に対する満足度	%	毎年度末に実施しているまちづくりアンケートの「筑後市の防災体制」に関する満足度で、「どちらかといえば満足である」「満足である」と回答された方の割合を指標とする。	地区整備の各事業となる地域交流センター及び地域防災施設の整備によって、地域住民の災害への安心感を指標として設定する。	9.2	H25	20.0	H30

都市再生整備計画の整備方針等

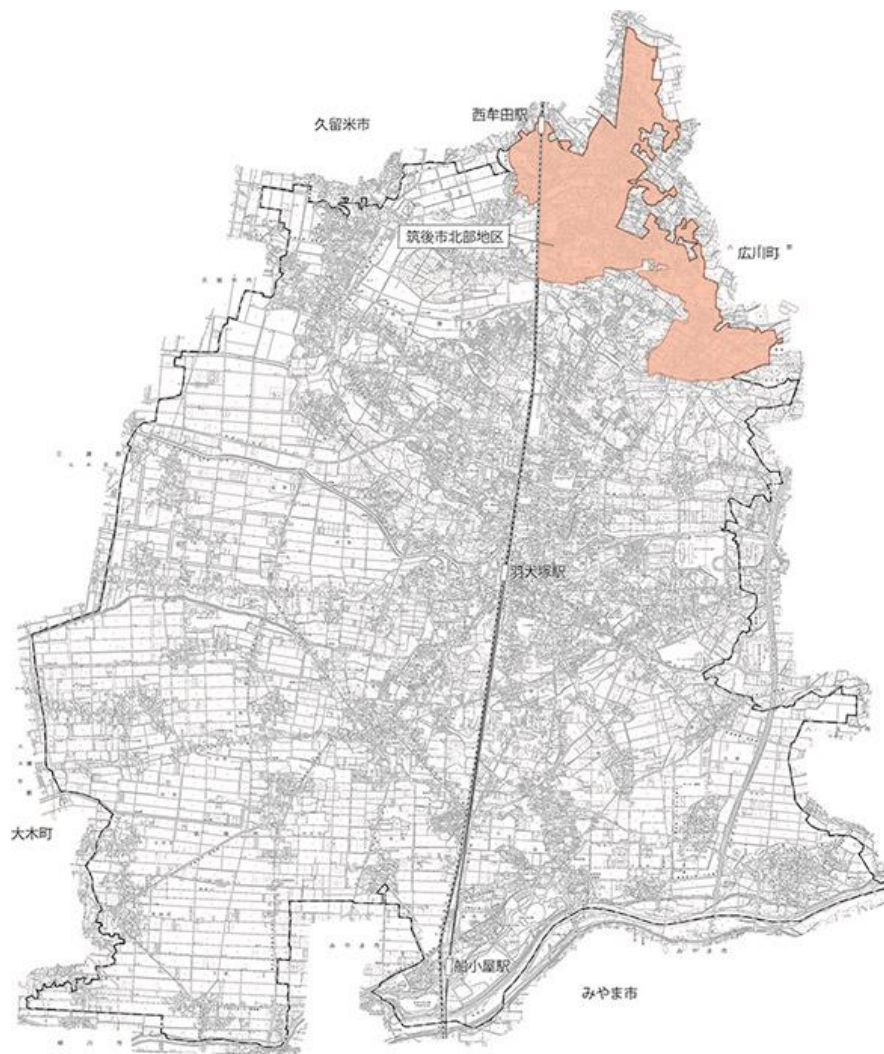
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
○整備方針1 地域交流の拠点形成や通学路等の整備を進め、安全で快適な居住環境の提供を行い、市の居住促進地域として魅力ある居住地の形成を図る	・事後評価分析調査(提案事業・事業活用調査)
・地域住民のコミュニティ活動や交流できる拠点の形成	・多目的広場整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設) ・地域交流センター整備事業(基幹事業・高次都市施設) ・地域コミュニティ増進施設(提案事業・地域創造支援事業)
・通学路を中心に、誰もが安心して歩行できる歩行者空間の確保	・通学路対策事業(基幹事業・道路) ・情報案内板設置事業(基幹事業・地域生活基盤施設)
・景観形成や緑づくりなどの住民主体のまちづくり活動に向けた意識啓発	・まちづくり協議会活動支援事業(提案事業・まちづくり活動推進事業)
・定住促進に向けた対外的なPR活動	・定住促進PR事業(提案事業・まちづくり活動推進事業)
○整備方針2 地区内の防災性・安全性の向上に向け、防災施設の新設や避難施設までの避難経路等の新設を図る。	
・地区の居住環境を向上させるための防災施設の新設	・地域防災施設整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設)
・住民の支えあい意識の向上に向けたコミュニティ施設の新設による地域コミュニティの強化	・(再掲)地域交流センター整備事業(基幹事業・高次都市施設) ・(再掲)地域コミュニティ増進施設(提案事業・地域創造支援事業)
・災害時のスムーズな避難を誘導するための避難路の新設	・災害避難路整備事業(提案事業・地域創造支援事業)
・様々な地元主体のまちづくり活動を促すことによる公民協働のまちづくりの実現	・(再掲)まちづくり協議会活動支援事業(提案事業・まちづくり活動推進事業)
その他 ○住民等によるまちづくり活動等について 平成24年に発足した筑後北校区コミュニティ協議会との運動によって官民協働によるまちづくりを推進する。 緑づくりの活動を行う住民団体に対して支援を行い、北部地区の緑豊かなまちづくりに向けた取り組みを行う。	

都市再生整備計画の区域

ナカゴ シ ホクブ チク フクオカ ケン チクゴ シ 筑後市北部地区 (福岡県筑後市)	面積	252 ha	区域 大字蔵数、大字西牟田、大字一条、大字前津、大字熊野
---	----	--------	------------------------------



資料「Google マップ」を加筆



筑後市北部地区(福岡県筑後市) 整備方針概要図

目標	大目標 いきいきとした暮らしと安全で快適な住環境を備えた魅力ある居住地の形成	代表的な指標	地区内居住人口 (人)	5,703	(26年度)	→	5,882	(30年度)
	目標1 安全安心な住環境の提供による地区内の定住の促進		定住に対する満足度 (%)	32.2	(26年度)	→	37.1	(30年度)
	目標2 地区内の防災施設や防災体制の充実による防災意識の向上及び地域コミュニティの強化		防災に対する満足度 (%)	9.2	(26年度)	→	20.0	(30年度)

